

## Y08a 動画配信プラットフォームYouTubeを用いた天文普及活動報告

萩野正興 (日本スペースガード協会), 齊藤昭則 (京都大), 宮良碧 (茨城大), 山田紗也, 大島優, 宮田ゆき乃, 田中智也, 高橋晴信, 内藤光希, 内藤将景, 影山侑汰 (明星大), 明星大学天文愛好会, ダジック・アース・チーム

我々はこれまでプロジェクターを使って、大型のバルーンに天体を投影し立体視させるダジック・アース手法を用いて全国各地で出前授業を行ってきた。また、その応用として身近なもの (スマートフォン、虫眼鏡、スチロール球など) を使って家庭でもダジック・アースが再現できる「おうちでダジック」という教材を開発し、天文啓発活動を行ってきた。この「おうちでダジック」では、天体物理学としての天文学だけでなく、レンズを組み合わせた鏡を用いたりして、虫眼鏡を屈折望遠鏡に見立てその仕組みや光軸調整やフォーカス合わせといった天文学の光学技術分野の理解向上としても利用できる。

しかし、2019年に始まった世界的なコロナ禍で出前授業ができなくなってしまった。そこで、テレワークやステイホームといったニューノーマルな生活形態に着目し、ユーザーの多い動画配信プラットフォーム YouTubeでの配信という形式で、天文学や地球物理学を広く多くの人々に知ってもらおう活動を開始した。この動画作成には、多くの若者に見てもらおうことを考えて大学生のアイデアを多く起用した。この事によって参加した学生の知的好奇心が刺激され、自ら進んで学び、行動できるようになった。

本講演では2020年度に行われた YouTube 配信の様相やその効果について報告する。また、オンライン動画配信における天文教育普及活動の今後の展望についても議論する。